

基盤科目
(1)共通科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
共通科目	M1100	保健科学セミナー	2	1	必修	1	集中 図書館セミナー室 他	指導教員	修士論文を作成するために関連文献の調査収集，データ処理技術及び発表方法の演習を行い，研究の進め方やデータ分析能力を養う。最終日に共同で報告会を開催し発表方法を学ぶ。第1回および第15回は全コース合同で行う。第2回から14回は各コース毎のテーマで作業を行い，15回目に全コース合同報告会に参加する。	鍼灸対象 詳細は後日揭示
	M1101	保健科学セミナー	2	1	必修	1	集中 図書館セミナー室 他	指導教員	修士論文を作成するために関連文献の調査収集，データ処理技術及び発表方法の演習を行い，研究の進め方やデータ分析能力を養う。最終日に共同で報告会を開催し発表方法を学ぶ。第1回および第15回は全コース合同で行う。第2回から14回は各コース毎のテーマで作業を行い，15回目に全コース合同報告会に参加する。	理学対象 詳細は後日揭示
	M1102	保健科学セミナー	2	1	必修	1	集中 316 518 他	指導教員 及び コース長	修士論文を作成するために，関連文献の調査収集，データ処理技術および発表方法の演習を行い，研究の進め方やデータ分析能力を養う。最後に報告会を開催して発表方法を学ぶ。第1回および第15回は全コース合同で行う。第2回から14回は各コースに分かれて，各々のテーマで作業を行い，第15回に全コース合同報告会で研究計画の発表と質疑応答を受ける。	情報対象 詳細は後日揭示
	M1110	障害補償機器特論	2	1.2	選択	1	月5 514	小林 真	障害補償機器に関する国内外の各種文献，論文等を題材として，感覚障害を補う補償機器について，現在の研究手法のトレンドや動向，仕組みを学び，ニーズ志向の補償機器研究を実施し発表する素養を養う。	

基盤科目

(1)共通科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
共通科目	M1120	障害補償技術特論	2	1,2	選択	1	木3 518	坂尻正次	視覚情報処理に関わる人間の機能・能力について理解するための人間工学・福祉工学的な手法について学ぶ。	
	M1130	障害補償ソフトウェア工学特論	2	1,2	選択	1	火6 518	大西淳児	視覚情報補償に利用するソフトウェアの開発に必要な専門的知識を学ぶ。	
	M1140	視覚情報処理特論	2	1,2	選択	2	木3 516	福永克己	視覚障害を学ぶには、脳が視覚情報をどのように処理して、色、奥行き、動き、形などとして捉えているのかを知ることが重要である。この講義では、その仕組み、処理方法について解説する。	

専門科目

(2)医療系コース共通科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
医療系コース共通科目	M2100	解剖学特論(機能解剖学)	2	1,2	選択	1	集中 234	加藤一夫	人体の形態と構造の全体的な特徴を理解し、各器官の基本的構造を機能と関連して解説する。特に鍼灸手技療法及び理学療法の実践に必要な、骨格筋、神経、関節等の機能解剖に特化して講義する。	詳細は後日揭示
	M2110	生理学特論 (運動生理学・自律神経生理学)	2	1,2	選択	1	集中 214 217	志村まゆら	人体の生理機能に関する基本事項のうち、特に鍼灸手技療法及び理学療法（主に物理療法）の治療効果の理解に必要な神経生理学・運動生理学・自律神経生理学分野に特化した講義を行う。	詳細は後日揭示
	M2131	臨床医学特論A (脳神経外科学)	2	1,2	選択	通年	集中 325	鮎澤 聡	脳神経外科学の主要疾患における、病態、症候、外科的治療方法について学習する。また、てんかん・難治性疼痛・不随意運動などの疾患に対して行われる神経電気刺激などの機能神経外科治療・ニューロモデレーションを通して、脳神経機能ならびに機能再建に関する理解を深め、鍼灸学や理学療法学に活用できる知識を習得する。関連する英語論文・文献を抄読し、最新の知識の習得と今後の研究応用を目指す。	
	M2140	臨床医学特論B (神経内科学)	2	1,2	選択	1	木5 又は 集中 351	白岩伸子	授業は簡易なパーキンソン病の英語の文献、教科書を用いて実施する。パーキンソン病の主要神経症候と病態生理、治療効果のメカニズムなどの理解を深め、鍼灸学や理学療法学に活用できる知識・技能を習得する。	

専門科目

(2)医療系コース共通科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時間 教室	担当教員	授業概要	備考
医療系コース共通科目	M2150	臨床医学特論C (整形外科)	2	1,2	選択	1	木4 426 他	菅谷 久	整形外科が対象とする運動器の外傷・障害の病態，診断，予防，治療，リハビリテーションなどに関する最新の研究論文を抄読し，これらの領域における研究課題の動向を把握する。また，講義，診療見学，論文抄読などを通じて，運動器疾患に対する基本的アプローチを理解し，疾患に関する情報・研究を正確に説明・還元する方法を修得する。	
	M2161	臨床医学特論D (循環器内科学)	2	1,2	選択	2	木1 227	酒井 俊	まず循環器系の解剖，生理を理解し，臨床検査の方法と診断技術を理解する。心電図の解釈を理解する。動脈硬化の機序と病態を理解し，高血圧，虚血性心疾患への関連を理解する。弁膜症の血行動態を理解する。心筋症と心不全の病態と関連を理解する。大動脈疾患，末梢血管疾患の特徴を理解する。不整脈の基礎と臨床を理解する。肺高血圧の特殊性を理解する。成人となった先天性心疾患への対応を学習する。	
	M2170	臨床医学特論E (内科学)	2	1,2	選択	1	水4 東西医学統合医療センター 外来	酒井 俊	一般内科における主な疾患について，その原因，疫学，症状，経過，治療について学習する。診療に陪席し，内科領域における実際の患者診療における臨床診断，治療を習得するとともに，最新の動向に付き論文等を通じて理解を深める。また関連基礎医学領域における最新の研究についても同様に最新の知識の習得と今後の研究応用を目指す。論文は英語論文とする。	
		衛生学特論 (微生物感染症学・消毒論)	2	1,2	選択					令和5年度開講せず
		臨床医学特論F (精神医学)	2	1,2	選択					令和5年度開講せず

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3100	手技療法学特論	2	1,2	選択					令和5年度開講せず
	M3110	鍼灸学特論	2	1,2	選択	2	木6 金6 又は 集中 教室は別途指定する	◎石崎直人 近藤宏 笹岡知子 櫻庭陽 福島正也	鍼灸刺激が生体に及ぼす効果と臨床的意義について疾患・症候あるいは領域別に学習する。主な領域は代謝内分泌、難治性疾患、スポーツ分野、血液透析分野、ストレス関連疾患、皮膚、消化管機能。 〔オムニバス方式〕 鍼灸治療が代謝内分泌系に及ぼす効果と臨床的意義を学ぶ（石崎直人） スポーツ分野における鍼灸の臨床的意義を学ぶ（近藤 宏） 血液透析分野における鍼灸治療の意義を学ぶ（櫻庭 陽） 鍼灸治療がストレス関連疾患に及ぼす効果と臨床的意義を学ぶ（福島正也） 鍼灸刺激が皮膚に及ぼす効果と臨床的意義を学ぶ（笹岡知子）	
	M3121	鍼灸手技療法の研究デザインとデータ解析	2	1,2	選択	1	木6 又は 集中 217	石崎直人	鍼灸手技療法の研究に必要な研究デザインの考え方や研究倫理の基礎知識を習得した上で統計解析の基礎を身につけることを目標とする。主な内容は、医学研究デザインの種類とエビデンスレベル、研究倫理の基礎知識、医療統計解析の基礎と実践についての知識を学習した上で、データ解析の実際について修得する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3151	臨床鍼灸手技療法学特論（現代鍼灸手技療法学）	2	1,2	選択	1	集中 351	福島正也	現代医学と鍼灸手技療法を統合し、臨床現場で実践するための病態把握と治療法を学修する。主な内容は、医療面接、各種検査法、評価法、治療計画立案、鍼灸・手技療法による治療を取り扱う。	
	M3161	臨床鍼灸手技療法学特論（疼痛系疾患鍼灸手技療法学）	2	1,2	選択	1	集中 351	近藤宏	鍼灸手技療法の分野で遭遇する疼痛系疾患の病態とその治療法について学修する。主な内容は、疼痛疾患に対する鍼灸手技療法の国内外の臨床研究についての講読、慢性疼痛治療ガイドラインを参考に疼痛疾患に対する評価法やその治療法について学ぶ。	
	M3171	総合臨床鍼灸学・演習1A（内科系臨床）	3	1	選択	1	金4.5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	石崎直人	総合臨床鍼灸学・演習1Aは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、内科領域及び全身の症候（食欲不振、便秘、下痢、過敏性腸症候群）に対する鍼灸療法の処方導き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、肩こり、消化器症状、呼吸器症状、循環器症状、肥満・糖尿病、疲労倦怠などについて、東洋医学（中医学）の立場から病歴の聴取、診察を行い、検査所見から病態を把握し、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う方法について演習する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3181	総合臨床鍼灸学・演習 1B (難治疾患系臨床)	3	1	選択					令和5年度開講せず
	M3190	総合臨床鍼灸学・演習 1C (老年系疾患臨床)	3	1	選択	1	木4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	福島正也	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、高齢者の体性感覚・機能系症状等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い、鍼灸・手技療法の処方導き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	
	M3200	総合臨床鍼灸学・演習 1D (自律機能系疾患臨床)	3	1	選択					令和5年度開講せず

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3210	総合臨床鍼灸学・演習 1E（疼痛系疾患臨床）	3	1	選択	1	火4.5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	近藤宏	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、各種疼痛等に対し鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い鍼灸・手技療法の処方導き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	
	M3211	総合臨床鍼灸学・演習 1F（運動器系疾患臨床）	3	1	選択	1	火4.5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	櫻庭陽	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、運動器系症状等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い、鍼灸・手技療法の処方導き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	
	M3212	総合臨床鍼灸学・演習 1G（包括的鍼灸手技臨床）	3	1	選択	1	月～金 1～6 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	◎石崎直人 近藤宏 笹岡知子 櫻庭陽 福島正也	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学的または古典医学的な立場からの病態把握により、鍼灸・手技療法の処方導き出す論理を東西医学統合医療センター鍼灸および手技外来に来院する症例をモデルとしてベッドサイドで学ぶ。鍼灸学並びに手技学における代表的な症状について、現代、古典の立場から病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸または手技治療計画、治療の経過の評価について演習する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3213	総合臨床鍼灸学・演習 1H (産婦人科系疾患臨床)	3	1	選択	1	金4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学 研究室	笹岡知子	総合臨床鍼灸学・演習1Hは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学および東洋医学（中医学）における病態把握により鍼灸療法の処方を通し出す方法について、講義、臨床を通して学ぶ。 東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例と模擬症例をモデルとして、月経痛、月経不順、無月経、月経前緊張症などについて、東洋医学（中医学）の立場から病歴の聴取、診察を行い、検査所見から病態を把握し、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う方法について演習する。	
	M3220	総合臨床鍼灸学・演習 2A (内科系臨床)	3	1	選択	2	金4,5 又は 集中 鍼灸施術室 コン ピュータ 室	石崎直人	総合臨床鍼灸学・演習2Aは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、東洋医学（古典的解釈を含む）における病態把握により鍼灸・手技療法の処方を通し出す方法について、臨床を通して学ぶ。 東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、冷え症、夜尿、逆子、こむら返りなどの症状に対して、東洋医学（古典含む）の立場から病歴の聴取、診察を行い、その結果から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う手順について演習する。	
	M3231	総合臨床鍼灸学・演習 2B (難治疾患系臨床)	3	1	選択					令和5年度開講せず

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3240	総合臨床鍼灸学・演習 2C (老年系疾患臨床)	3	1	選択	2	木4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	福島正也	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、高齢者の体性感覚・機能系症状等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い、鍼灸・手技療法の処方導き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	
	M3250	総合臨床鍼灸学・演習 2D (自律機能系疾患臨床)	3	1	選択	2				令和5年度開講せず
	M3260	総合臨床鍼灸学・演習 2E (疼痛系疾患臨床)	3	1	選択	2	火4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	近藤宏	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、各種疼痛等に対し鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い鍼灸・手技療法の処方導き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3270	総合臨床鍼灸学・演習 2F (運動器系疾患臨床)	3	1	選択	2	火4,5 又は 集中 鍼灸施術室	櫻庭陽	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、運動器系症状等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い、鍼灸・手技療法の処方を書き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	
	M3280	総合臨床鍼灸学・演習 2G (包括的鍼灸手技臨床)	3	1	選択	2	月～金 1～6 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	◎石崎直人 近藤宏 笹岡知子 櫻庭陽 福島正也	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学的または古典医学的な立場からの病態把握により、鍼灸・手技療法の処方を書き出す論理を東西医学統合医療センター鍼灸および手技外来に来院する症例をモデルとしてベッドサイドで学ぶ。鍼灸学並びに手技学における代表的な症状について、現代、古典の立場から病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸または手技治療計画、治療の経過の評価について演習する。	
	M3290	総合臨床鍼灸学・演習 2H (産婦人科系疾患臨床)	3	1	選択	2	金4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	笹岡知子	総合臨床鍼灸学・演習2Hは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学および東洋医学(中医学)における病態把握により鍼灸療法の処方を書き出す方法について、講義、臨床を通して学ぶ。 東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、立ち眩み、冷え症、骨盤痛、帯下などの症状に対して、東洋医学(中医学)の立場から病歴の聴取、診察を行い、その結果から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う手順について演習する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3300	総合臨床鍼灸学・演習 3A (内科系臨床)	3	2	選択	1	金4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学 研究室	石崎直人	総合臨床鍼灸学・演習3Aは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、東洋医学（中医学）における病態把握により鍼灸・手技療法の処方を選択出す方法について、臨床を通して学ぶ。 東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、冷え症、夜間尿、めまい、肩こり、不眠、こむら返りなどの症状に対して、東洋医学（中医学）の立場から病歴の聴取、診察を行い、その結果から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う手順について演習する。	
	M3310	総合臨床鍼灸学・演習 3B (難治疾患系臨床)	3	2	選択					令和5年度開講せず
	M3320	総合臨床鍼灸学・演習 3C (老年系疾患臨床)	3	2	選択	1	木4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学 研究室	福島正也	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、高齢者の体性感覚・機能系症状等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い鍼灸・手技療法の処方を選択出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3330	総合臨床鍼灸学・演習 3D (自律機能系疾患臨床)	3	2	選択	1				令和5年度開講せず
	M3340	総合臨床鍼灸学・演習 3E (疼痛系疾患臨床)	3	2	選択	1	火4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	近藤宏	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、各種疼痛等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い、鍼灸・手技療法の処方を読み出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	
	M3350	総合臨床鍼灸学・演習 3F (運動器系疾患臨床)	3	2	選択	1	火4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	櫻庭陽	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学的または古典医学的な立場からの病態把握により、鍼灸・手技療法の処方を読み出す論理を東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとしてベッドサイドで学ぶ。鍼灸学における代表的な症状について、現代、古典の立場から病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療の経過の評価について演習する。本演習では、特に運動器系の疾患を対象に実施する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3360	総合臨床鍼灸学・演習 3G (包括的鍼灸手技臨床)	3	2	選択	1	月～金 1～6 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学 研究室	◎石崎直人 近藤宏 福島正也 笹岡知子 櫻庭陽	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学的または古典医学的な立場からの病態把握により、鍼灸・手技療法の処方を書き出す論理を東西医学統合医療センター鍼灸および手技外来に来院する症例をモデルとしてベッドサイドで学ぶ。鍼灸学並びに手技学における代表的な症状について、現代、古典の立場から病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸または手技治療計画、治療の経過の評価について演習する。	
	M3370	総合臨床鍼灸学・演習 3H (産婦人科系疾患臨床)	3	2	選択	1	金4.5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学 研究室	笹岡知子	総合臨床鍼灸学・演習3Hは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学および東洋医学（中医学）における病態把握により鍼灸療法の処方を書き出す方法について、講義、臨床を通して学ぶ。 東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例と模擬症例をモデルとして、無月経、月経過多、月経過少、不妊などの症状に対して、東洋医学（中医学）の立場から病歴の聴取、診察を行い、その結果から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う手順について演習する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3400	総合臨床鍼灸学・演習 4A (内科系臨床)	3	2	選択	2	金4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学 研究室	石崎直人	総合臨床鍼灸学・演習4Aは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、東洋医学（中医学）における病態把握により鍼灸療法の処方導き出す方法について、臨床を通して学ぶ。 東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、不眠、こむら返り、疲労・倦怠感などの症状に対して、東洋医学（中医学）の立場から病歴の聴取、診察を行い、その結果から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う手順について演習する。	
	M3410	総合臨床鍼灸学・演習 4B (難治疾患系臨床)	3	2	選択					令和5年度開講せず
	M3420	総合臨床鍼灸学・演習 4C (老年系疾患臨床)	3	2	選択	2	木4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学 研究室	福島正也	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、高齢者の体性感覚・機能系症状等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い、鍼灸・手技療法の処方導き出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3430	総合臨床鍼灸学・演習 4D (自律機能系疾患臨床)	3	2	選択	2				令和5年度開講せず
	M3440	総合臨床鍼灸学・演習 4E (疼痛系疾患臨床)	3	2	選択	2	火4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	近藤宏	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、各種疼痛等に対し、鍼灸臨床における現代医学的病態把握を行い、鍼灸・手技療法の処方を読み出す論理を学ぶ。東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとして、代表的な症状について、病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価について演習する。	
	M3450	総合臨床鍼灸学・演習 4F (運動器系疾患臨床)	3	2	選択	2	火4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	櫻庭陽	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学的または古典医学的な立場からの病態把握により、鍼灸・手技療法の処方を読み出す論理を東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例をモデルとしてベッドサイドで学ぶ。鍼灸学における代表的な症状について、現代、古典の立場から病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸治療計画、治療の経過の評価について演習する。本演習では、特に運動器系の疾患を対象に実施する。	

専門科目

(3) コース指定選択科目 鍼灸学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
鍼灸学	M3460	総合臨床鍼灸学・演習 4G (包括的鍼灸手技臨床)	3	2	選択	2	月～金 1～6 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	◎石崎直人 近藤宏 福島正也 笹岡知子 櫻庭陽	総合臨床鍼灸学は、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学的または古典医学的な立場からの病態把握により、鍼灸・手技療法の処方を書き出す論理を東西医学統合医療センター鍼灸および手技外来に来院する症例をモデルとしてベッドサイドで学ぶ。鍼灸学並びに手技学における代表的な症状について、現代、古典の立場から病歴の聴取、診察内容、検査所見から病態把握、鍼灸または手技治療計画、治療の経過の評価について演習する。	
	M3470	総合臨床鍼灸学・演習 4H (産婦人科系疾患臨床)	3	2	選択	2	金4,5 又は 集中 鍼灸施術室 東洋医学研究室	笹岡知子	総合臨床鍼灸学・演習4Hでは、1回の授業を1時限の講義と1時限の演習の組合せで行われる。本講義では、現代医学および東洋医学（中医学）における病態把握により鍼灸療法の処方を書き出す方法について、講義、臨床を通して学ぶ。 東西医学統合医療センター鍼灸外来に来院する症例と模擬症例をモデルとし、更年期障害、骨盤位、妊産婦のマイナートラブルなどの症状に対して、東洋医学（中医学）の立場から病歴の聴取、診察を行い、その結果から病態把握、鍼灸治療計画、治療経過の評価を行う手順について演習する。	

専門科目

(4) コース指定選択科目 理学療法学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時間 教室	担当教員	授業概要	備考
理学療法学	M4110	物理療法学特論・演習	3	1,2	選択	2	集中 図書館 対面 朗読室 運動機能検査室 111 424 手技	松井 康	物理療法を実際の臨床現場で効果的に実践するための、物理的なエネルギーが生体に与える生理学的な影響、分子生物学、力学的解析、再生医学を視野に入れた物理療法について解説する。 物理療法に関する論文抄読を演習し、物理療法を用いた研究方法について学ぶ。	
	M4185	内部障害学特論・演習	3	1,2	選択	2	水5 運動機能検査室	三浦美佐 杉田洋介	内部障害（呼吸・循環・その他）者に対する障害像を把握し、同時に臨床研究の方法について文献抄読を行い、研究の意義ならびに基本的な研究方法について学ぶ。	
	M4190	運動制御特論・演習	3	1,2	選択	1	集中 541 他	井口正樹	骨格筋の生理学や筋疲労、姿勢制御、運動学習、神経の可塑性など正常な運動制御に必要な要素を学習し、運動療法への応用や、この分野での研究実施に必要な考え方を身につける。	
	M4200	脳性麻痺特論・演習	3	1,2	選択	1	木1 541	中村直子	脳性麻痺を対象とする疾患の病態像と異常発達の様相を理解し、科学的根拠を基にした脳性麻痺の理学療法について検討していく。また、脳内バーチャルリアリティー、身体内協応構造モデルと身体外協応構造モデルについて考える。さらに、筋緊張抑制法を考案していく。	

専門科目

(4) コース指定選択科目 理学療法学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
理学療法学	M4220	起業論・演習	3	1,2	選択	1	金5 536	嶋村幸仁	起業に際して、経営学の理論を具体的・実践的に学び、企業家として必要な知識、習得を行う。また、技術と経営の融合を図ることはどのようなことなのか、「戦略」「競争」「差別化」「マーケティング」のキーワードに対して、実現可能な計画を作り、ビジネスとして通用するビジネスプランを作成し、発表する。	
	M4230	臨床運動学特論・演習	3	1,2	選択	1	金3 224	佐久間 亨 木村 健作	身体運動を力学的観点から学習する。特に理学療法における主な対象である種々疾患の歩行障害について正常歩行との比較を通して理解を深める。講義、討論、論文抄読などを通して臨床への応用や本分野での研究実施に必要な考え方を学習する。	
	M4240	スポーツリハビリテーション特論・演習	3	1	選択	2	集中 224	松井 康	スポーツ傷害の予防、治療、回復に関する最新の研究論文を抄読し、これらの領域における研究課題の動向を把握する。また、講義や論文抄読会を通じて、スポーツ傷害に対するリハビリテーションについて学び、講義後演習を行う。	

専門科目

(5)コース指定選択科目 情報システム学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報システム学	M5100	情報工学・感覚工学特論	2	1	選択	1	木6 518	◎嶋村幸仁 関田 巖 大西淳児 岡本 健 坂尻正次 河原正治 小林 真 福永克己 堀江則之 鶴見昌代	情報工学及び福祉工学の一分野である感覚工学における基礎的な知識を多くの教員による講義を通して学習する。また、最新の研究や話題についても言及する。(オムニバス形式)	
	M5110	システム設計特論	2	1,2	選択	1	月3 518	大西淳児	コンピュータシステムを設計する上で必須となるのがシステム設計の方法である。さまざまな分析技術、モデリングなどのシステム設計方法について構造化技法、オブジェクト技法について講義する。システム設計の対象として主として組込みシステムを取り上げる。	
	M5120	システム設計特論演習	1	1,2	選択	1	月4 411	大西淳児	システム設計特論で得られた構造化ならびにオブジェクト指向のシステム設計手法をもとに、仮想システムの構築を通して演習を行う。	
	M5130	情報セキュリティ特論	2	1,2	選択	2	月3 518	岡本 健	コンピュータ及びネットワークの分野において不可欠な、情報のセキュリティを確立するための基盤技術について学習する。特に、不正アクセスなどの脅威からセキュアな情報システムを保つための方法と体系的な知識を習得する。	

専門科目

(5)コース指定選択科目 情報システム学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報システム学	M5140	コンピュータネットワーク特論	2	1,2	選択	1	水2 518	河原正治	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークを支える要素技術を習得し、最新の動向について理解を深める。 TCP/IP, ルーティング, スイッチング, 次世代インターネットの概要について学習する。 	
	M5150	インターネット技術応用特論	2	1,2	選択	2	水2 436	河原正治	インターネットを利用したアプリケーションサービスの実現方法を学習し、サーバ及びソフトウェアの実装手順を習得する。さらに、新しいサービスの可能性について考察する。また、これらの研究領域における学術論文に触れることで、最新の研究動向についての理解を深める。	
	M5160	デジタル信号処理特論	2	1,2	選択	1	火1 514	小林 真	デジタル信号処理の基礎となる、フーリエ変換、ラプラス変換、Z変換について学び、フィルタ動作について学習する。また信号処理の応用分野として機械学習について学び、ディープラーニングの仕組みと適用分野について学習する。	
	M5170	デジタル信号処理特論演習	1	1,2	選択	1	火2 514	小林 真	デジタル信号処理の基礎となる、フーリエ変換、ラプラス変換、Z変換、各種フィルタについて演習問題を解き、理解を深める。また信号処理の応用分野として機械学習について学び、プログラミングを通してディープラーニングについての知識を深める。	

専門科目

(5)コース指定選択科目 情報システム学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
	M5200	情報構造論特論	2	1,2	選択	2	火2 518	関田 巖	<p>実験データや論理的思考のために、データ構造を解析することは重要である。この講義では、計算機の取り扱うプログラムの構造については、言語処理系の手法として、オートマトンやLR解析法を解説する。多次元データの構造については、多変量解析手法を解説する。</p>	

専門科目

(5)コース指定選択科目 情報システム学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報システム学	M5240	技術経営戦略特論	2	1,2	選択	2	月5 446	嶋村幸仁	企業では、独自の技術戦略によって研究開発を行っているが、技術投資への費用対効果を最大化するMOT（技術経営）を実施している企業は少ない。MOTで成功するかしないかは、イノベーションをどのようにマネジメントするかに掛かっている。このため、イノベーション理論、企業成長戦略、コア技術戦略、リスク・マネジメント、環境経営等のさまざまな角度から科学的経営を行い、イノベーションを実現し、企業発展することが望まれている。本講義では、応用的実践を理解することを狙いとして実施する。	
	M5250	ビジネスデータ分析特論	2	1,2	選択	2	月1 414	堀江則之	経営企画や商品開発、営業や販売促進、調達や購買などに代表されるビジネスの現場は、実に多くのビジネスデータに溢れている。そして、これらのデータを利用した分析によって、さまざまな意思決定が行われている。 こうした背景を踏まえ、本講義では、ビジネスデータ分析の理論と実践について学ぶ。	
	M5260	意思決定特論	2	1,2	選択	2	火5 518	鶴見昌代	情報に基づいて問題解決や戦略策定することの重要性が高まっている。この授業では、問題解決および戦略策定のための意思決定法について学習する。オークション、企業間取引などについて、ゲーム理論を中心に学習し、戦略的思考を培う。	
	M5270	ゲームプログラミング特論	2	1,2	選択	2	木2 441	松尾政輝	コンピュータを用いたプログラミングにおいて、特にゲームに着目したプログラミングの理解と実践について学ぶ。そして、コンテンツ作成を学習し、キャラクタの操作やマルチメディアを利用した表現方法等に関するプログラミング技術の知識を深める。	

専門科目

(5)コース指定選択科目 情報システム学

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
		データベース特論	2	1,2	選択					令和5年度開講せず
		情報論理特論	2	1,2	選択					令和5年度開講せず
		知能システム特論	2	1,2	選択					令和5年度開講せず

専門科目

(6) 特別研究科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考
保健科学特別研究	M9100	鍼灸学特別研究1	4	1	必修	通年	水6 +集中 各研究室	鮎澤 聡 石崎直人 加藤一夫 白岩伸子 近藤 宏 志村まゆら 福島正也	鍼灸及び手技療法に関する領域から、各教員が提示したテーマを参考に研究課題を決め、基礎または臨床研究により修士論文を作成する過程を通じて、文献検索の方法、データの集積及び解析、プレゼンテーション技法等を演習形式で学びつつ研究を実施する。	詳細は後日掲示 M1100「保健科学セミナー」と併せて履修すること。
	M9110	鍼灸学特別研究2	4	2	必修	通年	集中 各研究室	鮎澤 聡 石崎直人 加藤一夫 白岩伸子 近藤 宏 志村まゆら 福島正也	指導教員のもと研究テーマごとに研究を実施し、論文の執筆に関わる事項について学ぶ。指導教員から課せられた課題について、年間を通して自由に学習、調査、研究を行いその成果について修士論文を作成し発表する。	
	M9200	理学療法学特別研究1	4	1	必修	通年	水6 +集中 各研究室	酒井 俊 三浦美佐 井口正樹 菅谷 久 佐久間亨 中村直子 松井 康	健康、疾病、リハビリテーション、介護予防等の領域において研究の企画、実施、論文のまとめ方など研究に必要なすべての手続き、方法を指導する。	詳細は後日掲示 M1101「保健科学セミナー」と併せて履修すること。

専門科目

(6) 特別研究科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
保健科学特別研究	M9210	理学療法学特別研究2	4	2	必修	通年	集中 各研究室	酒井 俊 三浦美佐 井口正樹 菅谷 久 佐久間亨 中村直子 松井 康	理学療法学特別研究1での学習をもとに、学生自ら研究論文を完成し発表できるよう教授する。また研究者としての態度・素養を教授して、さらに高度の研究に発展する能力を育成する。	
	M9300	情報システム学特別研究1	4	1	必修	通年	水6 +集中 各研究室	大西淳児 坂尻正次 関田 巖 岡本 健 小林 真 嶋村幸仁 鶴見昌代 堀江則之	研究テーマに関する文献調査、実験・演習を実施し、研究計画を立てる。第1学期は、情報工学・感覚工学特論（M5100）と同様に、各教員から専門分野の話しを聞いて、研究テーマの参考にし、研究の進め方についてコース全教員から指導を受ける。第2学期は、決定した研究テーマのもとに、指導教員の下で研究を遂行する。	詳細は後日揭示 M1102「保健科学セミナー」と併せて履修すること。
	M9310	情報システム学特別研究2	4	2	必修	通年	集中 各研究室	大西淳児 坂尻正次 関田 巖 岡本 健 小林 真 嶋村幸仁 鶴見昌代 堀江則之	指導教員の指導のもとに、実験等の研究を遂行して論文を作成する。第1学期及び第2学期を通して、研究テーマを遂行する。第1学期末には中間発表を、第2学期末には修士論文発表会を行う。	